

2 学 校 安 全

(1) 研修会

学校安全の充実及び、教職員の資質の向上を目的として、下記の研修会・大会等を開催した

期 日	事 項	内 容	会 場
5/21	学校安全教室 講習会 (東北信)	(実践発表) 「学校における交通安全教室の推進」 赤穂高等学校 教頭 松村 明 (講義Ⅰ) 「交通安全教育指導のポイント」 長野県交通安全教育支援センター 主事 宮澤まゆみ (講義Ⅱ) 「水難事故防止」 第九管区海上保安本部 警備救難部救難課 専門官 千原 和徳 (講義Ⅲ) 「学校における安全管理・組織活動の効果的な在り方」 大阪教育大学 教授 藤田 大輔	県庁講堂
6/2	学校安全教室 講習会 (中南信)	(講義Ⅰ) 「子どもに対する効果的な交通安全教育の指導方法」 東北工業大学 教授 小川 和久 (講義Ⅱ) 「交通安全教育指導のポイント」 長野県交通安全教育支援センター 主事 宮澤まゆみ (実践発表) 「児童引き渡し訓練の実践」 小布施町立栗ガ丘小学校 教諭 池内 博 (講義Ⅲ) 「ストーカー等・学校の安全対策・危険ドラッグ・サイバー犯罪」 県警察本部 子供・女性安全対策課 課長補佐 齊藤 正晃 (講義Ⅳ) 「学校における生活安全教育の推進」 長野県教育委員会事務局 保健厚生課 指導主事 須山 千才	総合教育 センター 参加者 合計 212人
6/8	防災教室講習会	(研修報告・実践発表) 「H26健康教育指導者養成研修学校安全コース研修報告」 「栄中学校の学校安全指導の取り組みについて」 栄村立栄中学校 教諭 田島 浩 (講義Ⅰ) 「小学生向け学習資料『地震から命や暮らしを守り、 みんなで生き延びるために』の活用マニュアルについて」 長野県危機管理部 危機管理防災課 本田 典史 (情報提供) 「授業ですぐ使える防災教材の紹介」 長野県教育委員会事務局 保健厚生課 指導主事 堀内 雅司 (講演) 「想定外に対応するための防災教育」 名古屋大学減災連携研究センター 特任准教授 阪本真由美	総合教育 センター
7/27	防災教室講習会	(研修報告・実践発表) 「H26健康教育指導者養成研修学校安全コース研修報告」 「栄中学校の学校安全指導の取り組みについて」 栄村立栄中学校 教諭 田島 浩 (講義Ⅰ) 「小学生向け学習資料『地震から命や暮らしを守り、 みんなで生き延びるために』の活用マニュアルについて」 長野県危機管理部 危機管理防災課 本田 典史 (情報提供) 「授業ですぐ使える防災教材の紹介」 長野県教育委員会事務局 保健厚生課 指導主事 堀内 雅司 (講演) 「今求められる防災教育のあり方」 山梨大学工学部 准教授 秦 康範	総合教育 センター 参加者 合計 455人

(2) 各領域の主な取組等

ア 交通安全

主な行事

(ア) 春(5月)・夏(7月)・秋(9月)・年末(12月)の交通安全運動の実施

(イ) 梅雨期・行楽期・夏休み中・厳冬期における安全指導の徹底

(ウ) 交通安全子供自転車大会参加 H27県大会参加校 10地区 13校 13チーム

年度 順位	19	20	21	22	23	24	25	26	27
県大会1位	辰野西	辰野西	高山	高山	高山	高山	高山	高山	高山
県大会2位	水明	高山	水明	辰野西	辰野西	辰野西	辰野西	辰野西	辰野西

(エ) 子どもの交通事故発生状況

(県警察本部交通部交通企画課調べ)

a 交通事故死傷者の推移

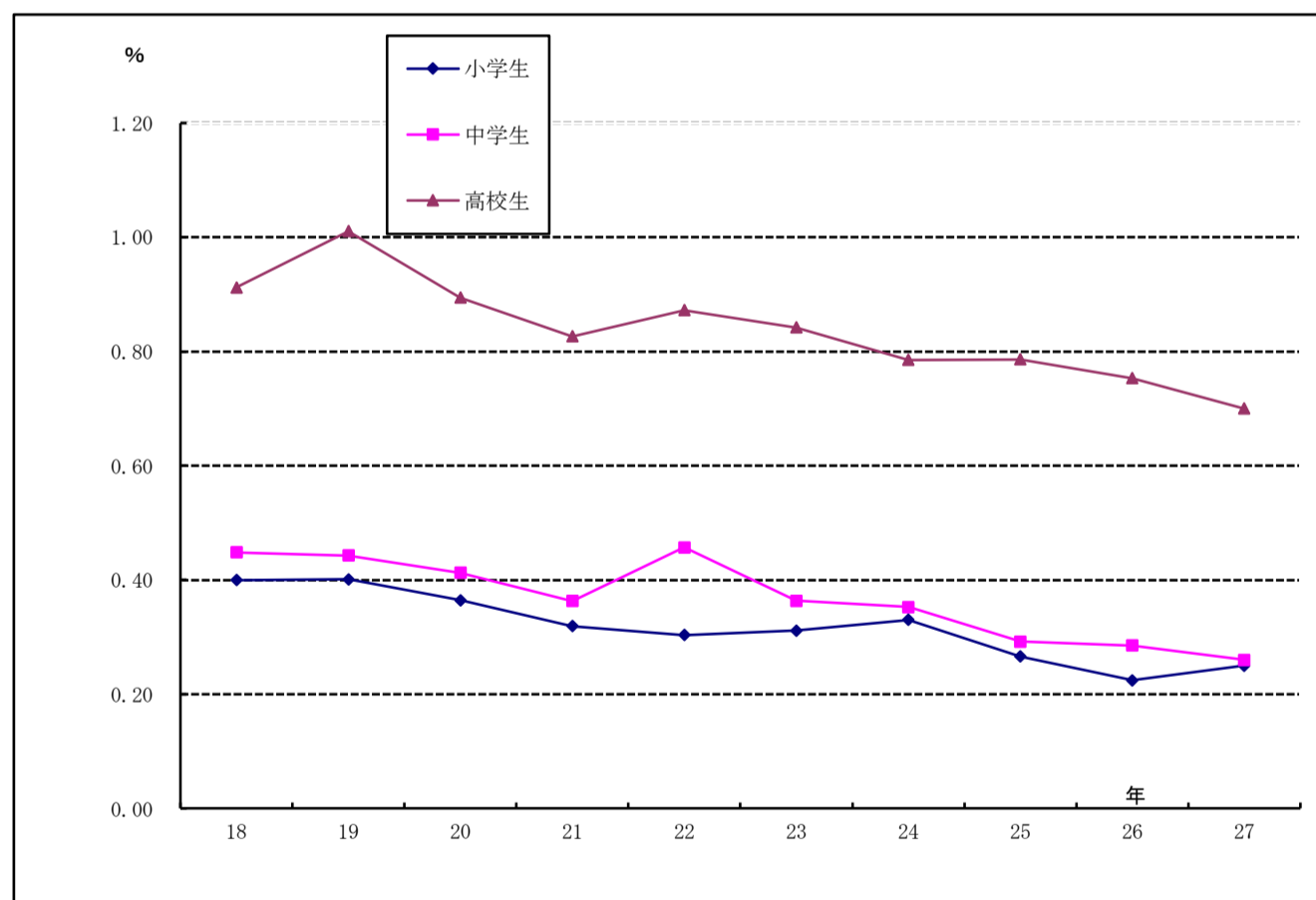
(人)

区分 年	全 国		長 野 県		左 の う ち							
	死 者	傷 者	死 者	傷 者	小学生		中学生		高校生		合 計	
					死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
18	6,352	1,097,591	128	17,112	-	520	1	292	6	618	7	1,430
19	5,744	1,034,514	121	16,146	-	515	-	292	2	676	2	1,483
20	5,155	944,071	118	15,082	-	466	2	268	3	588	5	1,322
21	4,914	908,874	111	14,146	-	404	1	237	1	543	2	1,184
22	4,863	894,281	110	13,588	1	378	-	294	-	579	1	1,251
23	4,612	852,094	115	13,261	1	381	-	234	1	548	2	1,163
24	4,411	824,539	97	13,295	2	395	1	225	1	513	4	1,133
25	4,373	779,660	100	12,262	-	313	1	182	1	465	2	960
26	4,113	711,374	82	11,501	-	259	1	176	-	445	1	880
27	4,117	666,023	69	10,954	-	287	2	160	2	410	4	857

b 児童生徒の交通事故死傷者の割合推移

(全小学生児童数、全中学生生徒数、全高校生生徒数に占める割合) (%)

区分/年	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
小学生	0.40	0.40	0.36	0.32	0.30	0.31	0.33	0.27	0.22	0.25
中学生	0.45	0.44	0.41	0.36	0.46	0.36	0.35	0.29	0.29	0.26
高校生	0.91	1.01	0.89	0.83	0.87	0.84	0.79	0.79	0.75	0.70



c 児童生徒の状態別交通事故発生状況

【小学生】

区分	死傷者数	率(%)
四輪同乗・他	136	47.4%
歩行者	105	36.6%
自転車	46	16.0%
合計	287	100.0%

【中学生】

区分	死傷者数	率(%)
自転車	59	36.9%
四輪同乗・他	70 (1)	43.8%
歩行者	31 (1)	19.4%
合計	160 (2)	100.0%

【高校生】

区分	死傷者数	率(%)
自転車	269 (1)	65.6%
四輪同乗・他	79	19.3%
二輪車	24 (1)	5.9%
歩行者	35	8.5%
四輪運転中	3	0.7%
合計	410 (2)	100.0%

注：() 内は死者数で内数

イ 災害安全

実践的防災教育総合支援事業

(ア) 趣旨

緊急地震速報受信システムを利用した避難訓練の実施を通じて、児童生徒が状況に応じた的確な判断の下、冷静かつ迅速な避難行動を主体的にとることができるようにすること、及び児童生徒が災害発生時に自らの生命を守るために必要な知識を理解するとともに、危険を回避し自らの安全を確保するための行動がとれるようにするための防災教育の指導法を構築する。

(イ) 事業概要

県下の小中学校11校に緊急地震速報受信システムを整備し、より実践的な避難訓練等を行うとともに、学校防災アドバイザーを派遣し、専門的な見地から防災に関する指導や助言を行い、いざという時に自ら判断して行動できる児童生徒を育成する。

学校防災アドバイザーの派遣を希望する学校に対しては、学校内に留まらず登下校中・休日の災害発生時における対応や、連絡体制、児童生徒の引き渡し、地域との連携、防災マップ作成見直し等に関する指導、助言を行う。また、昨年度の成果を踏まえ、学校における様々な教育活動における防災教育のあり方について検討する。

(ウ) 実施期間

平成27年7月14日～平成28年1月15日

(エ) 学校防災アドバイザー活用事業

学校防災アドバイザー派遣対象の32校に各2～3回派遣。

教育委員会	派遣校			
東 御 市	田中小学校 北御牧中学校	和小学校	祢津小学校	北御牧小学校
飯 田 市	鼎中学校			
飯 島 町	七久保小学校			
泰 阜 村	泰阜小学校	泰阜中学校		
安 曇 野 市	穂高南小学校	穂高北小学校	穂高西中学校	穂高東中学校
塩 尻 市	檜川中学校			
塩尻市辰野町中学校組合	両小野中学校			
長 野 市	古里小学校 西部中学校	柳原小学校	城東小学校	信里小学校
大 町 市	大町東小学校 八坂小学校 八坂中学校	大町南小学校 美麻小中学校	大町西小学校 第一中学校	大町北小学校 仁科台中学校
小 谷 村	小谷小学校	小谷中学校		
松 川 村	松川中学校			

(オ) 学校防災アドバイザー

信州大学教育学部理数科学教育講座	教授	榑 原 保 志
信州大学教育学部社会科学教育講座	教授	廣 内 大 助
奈良女子大学文学部人文社会科学地域環境学コース	准教授	西 村 雄 一 郎
特定非営利活動法人 D o C h u b u	副理事長	古 瀬 勇 一
気象庁 長野地方気象台	次長	三 崎 保 以下12人